

日興・CS世界高配当株式ファンド (毎月分配型)

追加型投信／内外／株式

交付運用報告書

第233期(決算日2024年6月18日) 第234期(決算日2024年7月18日) 第235期(決算日2024年8月19日)
第236期(決算日2024年9月18日) 第237期(決算日2024年10月18日) 第238期(決算日2024年11月18日)

作成対象期間(2024年5月21日～2024年11月18日)

第238期末(2024年11月18日)	
基準価額	9,054円
純資産総額	23,255百万円
第233期～第238期	
騰落率	1.3%
分配金(税込み)合計	120円

(注) 騰落率は分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

○交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書(全体版)に記載しております。

○当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書(全体版)は、下記の手順にて閲覧・ダウンロードいただけます。

<運用報告書(全体版)の閲覧・ダウンロード方法>

右記URLにアクセス ⇒ ファンド検索機能を利用して該当ファンドのページを表示 ⇒ 運用報告書タブを選択 ⇒ 該当する運用報告書をクリックしてPDFファイルを表示

○運用報告書(全体版)は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、「日興・CS世界高配当株式ファンド(毎月分配型)」は、2024年11月18日に第238期の決算を行ないました。

当ファンドは、主として、世界各国の株式に実質的に投資を行ない、安定した収益の確保と中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行なってまいりました。

ここに、当作成対象期間の運用経過等についてご報告申し上げます。

今後とも一層のお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

<452416>

日興アセットマネジメント株式会社

東京都港区赤坂九丁目7番1号
www.nikkoam.com/

当運用報告書に関するお問い合わせ先

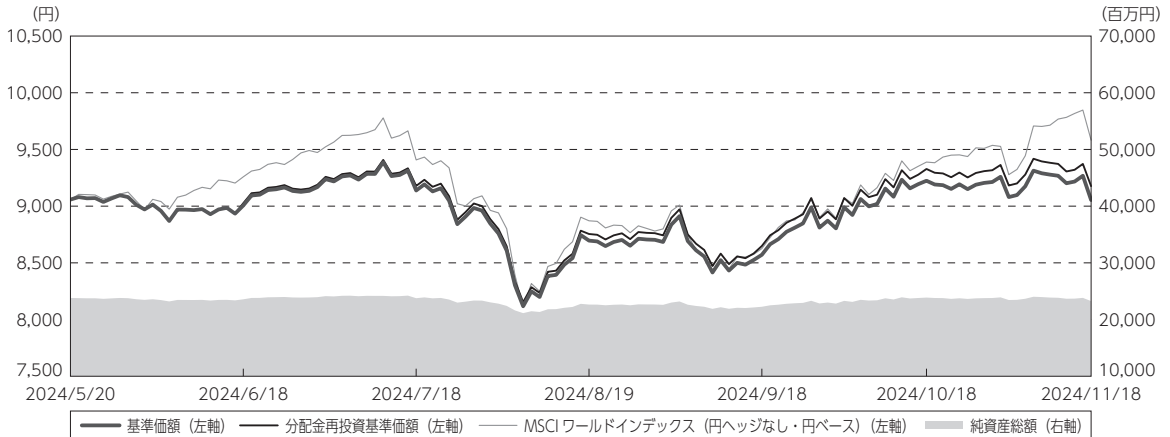
コールセンター 電話番号：0120-25-1404
午前9時～午後5時 土、日、祝・休日は除きます。

●お取引状況等についてはご購入された販売会社にお問い合わせください。

運用経過

作成期間中の基準価額等の推移

(2024年5月21日～2024年11月18日)



第233期首：9,058円

第238期末：9,054円 (既払分配金(税込み)：120円)

騰落率：1.3% (分配金再投資ベース)

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
 (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
 (注) 分配金再投資基準価額およびMSCIワールドインデックス(円ヘッジなし・円ベース)は、作成期首(2024年5月20日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
 (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
 (注) MSCIワールドインデックス(円ヘッジなし・円ベース)は当ファンドの参考指数です。

○基準価額の主な変動要因

当ファンドは、主として、世界各国の株式に実質的に投資を行ない、安定した収益の確保と信託財産の成長をめざして運用を行なっております。当作成期間中における基準価額の主な変動要因は、以下の通りです。

<値上がり要因>

- ・米国、欧州、英国の中央銀行による、経済成長支援のための金利引き下げ。
- ・発表された企業業績が、グローバルで概ね堅調であったこと。

<値下がり要因>

- ・中国の消費が懸念される中で、国内総生産(GDP)の伸び悩みなどによる経済成長の減速懸念。
- ・ロシアとウクライナとの間の紛争や中東での対立の長期化などの地政学的リスク。

1 万口当たりの費用明細

（2024年5月21日～2024年11月18日）

項 目	第233期～第238期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬 (投 信 会 社) (販 売 会 社) (受 託 会 社)	54 (29) (22) (3)	0.603 (0.324) (0.247) (0.033)	(a) 信託報酬＝作成期間の平均基準価額×信託報酬率 委託した資金の運用の対価 運用報告書など各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供などの対価 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料 (株 式)	1 (1)	0.006 (0.006)	(b) 売買委託手数料＝作成期間の売買委託手数料÷作成期間の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) 有 価 証 券 取 引 税 (株 式)	0 (0)	0.000 (0.000)	(c) 有価証券取引税＝作成期間の有価証券取引税÷作成期間の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d) そ の 他 費 用 (保 管 費 用) (監 査 費 用)	1 (1) (0)	0.012 (0.010) (0.002)	(d) その他費用＝作成期間のその他費用÷作成期間の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	56	0.621	
作成期間の平均基準価額は、8,951円です。			

(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

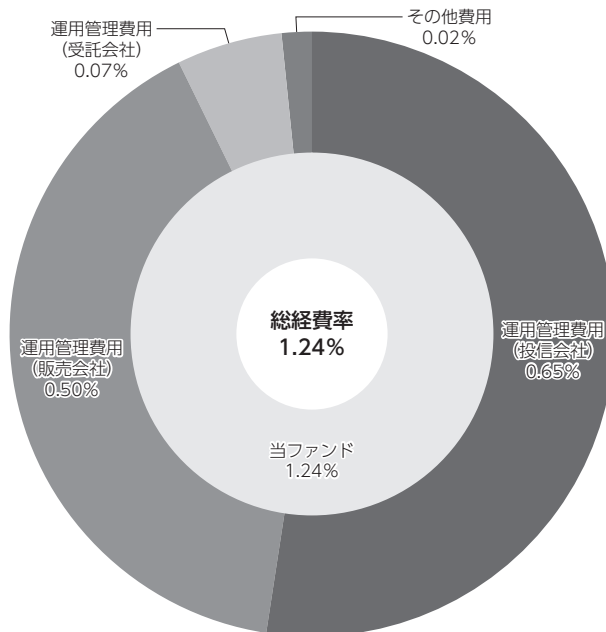
(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

（参考情報）

○総経費率

作成期間の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を作成期間の平均受益権口数に作成期間の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.24%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 「その他費用」には保管費用が含まれる場合があります。なお、「その他費用」の内訳は「1万口当たりの費用明細」にてご確認いただけますが、期中の費用の総額と年率換算した値は一致しないことがあります。

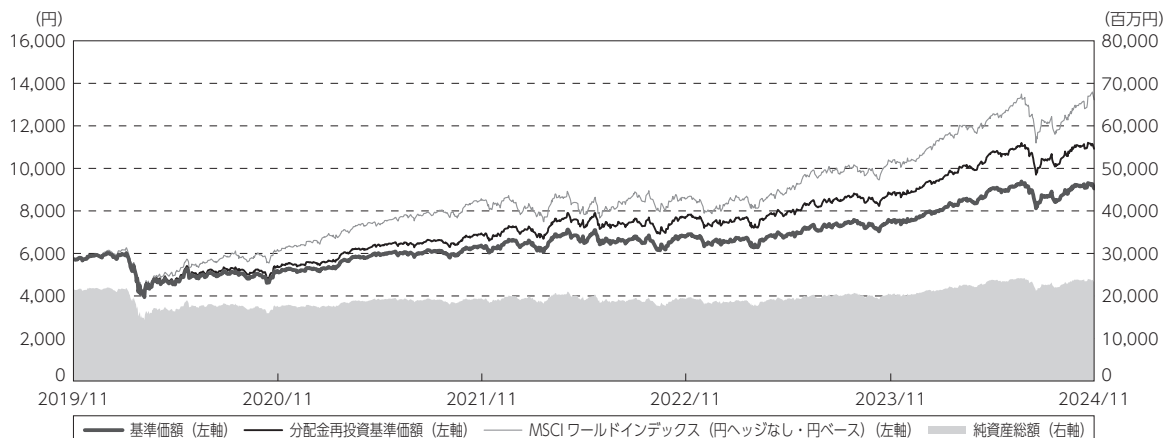
(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

最近5年間の基準価額等の推移

（2019年11月18日～2024年11月18日）



- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額およびMSCIワールドインデックス（円ヘッジなし・円ベース）は、2019年11月18日の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

	2019年11月18日 決算日	2020年11月18日 決算日	2021年11月18日 決算日	2022年11月18日 決算日	2023年11月20日 決算日	2024年11月18日 決算日
基準価額 (円)	5,737	5,138	6,318	6,804	7,526	9,054
期間分配金合計 (税込み) (円)	—	240	240	240	240	240
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	△ 6.1	28.2	11.7	14.5	23.7
MSCIワールドインデックス (円ヘッジなし・円ベース) 騰落率 (%)	—	7.2	38.1	0.8	20.8	27.9
純資産総額 (百万円)	21,536	17,531	19,290	19,360	20,394	23,255

- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。
- (注) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。
- (注) MSCIワールドインデックス（円ヘッジなし・円ベース）は当ファンドの参考指数です。
参考指数は投資対象資産の相場を説明する代表的な指数として記載しているものです。

投資環境

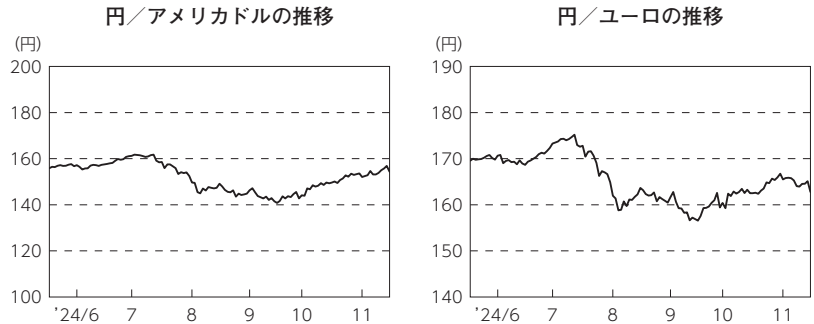
（2024年5月21日～2024年11月18日）

（株式市況）

当期間を通じて見ると先進国株式市場は好調に推移しました。期間の初めは、欧州中央銀行（ECB）による金融緩和や情報技術セクターを中心とした好調な業績の公表などによって上昇しました。その後もトランプ氏の大統領再就任への期待感の高まりなどから、米国を中心として株式市場は全体的に上昇したものの、ロシアとウクライナとの間の紛争や中東での対立の長期化などの地政学的リスクの影響などからボラティリティ（変動性）が高まる局面がありました。期間末にかけては、米国以外の国・地域では、経済成長が鈍化する可能性があると考えられていたものの、米国経済が堅調に推移する中、トランプ氏が米国大統領選挙で勝利したとのニュースが伝わると株価は一時世界的に上昇しました。

（為替市況）

期間中における主要通貨（対円）は、右記の推移となりました。



当ファンドのポートフォリオ

（2024年5月21日～2024年11月18日）

（当ファンド）

当ファンドは、「世界高配当株式マザーファンド」受益証券を高位に組み入れて運用を行ないました。

（世界高配当株式マザーファンド）

世界の株式市場を対象に、配当利回りが高く、増配や株価上昇が見込める優良銘柄に投資を行ないました。地域別では、魅力的な配当が見込める欧州を引き続き積極姿勢とし、日本以外のアジア太平洋地域を若干の消極姿勢としました。また投資妙味に欠け、控えめな配当の北米と日本については消極姿勢を維持しました。

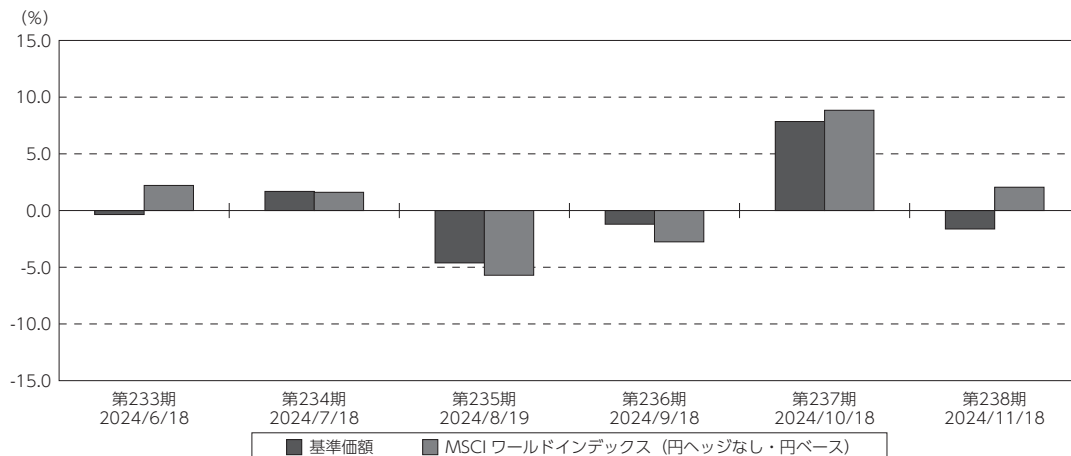
業種配分としては、高い配当利回りと良質な配当を享受できると考えられる、公益やヘルスケアなどを積極姿勢とし、配当利回りが低いコミュニケーション・サービス、また金利感応度の高い不動産などを消極姿勢としました。個別銘柄では、配当利回りに加えてファンダメンタルズ（経済の基礎的条件）やバリュエーション（価値評価）などを勘案して銘柄入替を行ないました。

当ファンドのベンチマークとの差異

（2024年5月21日～2024年11月18日）

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。
 グラフは、当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率です。

基準価額と参考指数の対比（期別騰落率）



(注) 基準価額の騰落率は分配金（税込み）込みです。

(注) MSCIワールドインデックス（円ヘッジなし・円ベース）は当ファンドの参考指数です。

分配金

（2024年5月21日～2024年11月18日）

分配金は、運用実績や市況動向などを勘案し、以下のとおりといたしました。なお、分配金に充当しなかった収益につきましては、信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

○分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項 目	第233期	第234期	第235期	第236期	第237期	第238期
	2024年5月21日～ 2024年6月18日	2024年6月19日～ 2024年7月18日	2024年7月19日～ 2024年8月19日	2024年8月20日～ 2024年9月18日	2024年9月19日～ 2024年10月18日	2024年10月19日～ 2024年11月18日
当期分配金 (対基準価額比率)	20 0.222%	20 0.218%	20 0.229%	20 0.233%	20 0.216%	20 0.220%
当期の収益	16	16	8	8	18	1
当期の収益以外	3	3	11	11	1	18
翌期繰越分配対象額	3,445	3,525	3,514	3,503	3,613	3,594

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

（当ファンド）

引き続き、ファンドの基本方針に則り、「世界高配当株式マザーファンド」受益証券を原則として高位に組み入れて運用を行ないます。

（世界高配当株式マザーファンド）

一部の国を除いてほとんどの主要中央銀行が利下げ局面に入っていることから、こうした良好な環境は今後も続くとみています。金融緩和の効果は通常遅れてあらわれますが、過去において利下げ局面入り後6ヵ月から12ヵ月間は、株式市場にとってプラスの効果をもたらす傾向にあります。米国連邦準備制度理事会（F R B）は利下げ余地が十分にあり、米国株式市場が史上最高値に迫る環境下で、2024年9月の会合において0.5%の利下げを決定するなど、景気減速への予防的措置としての対策を講じるべく、積極的な姿勢を示しています。

当ファンドでは、これまでと同様に増配と株価上昇の可能性がある銘柄への注力を維持する方針です。配当見通しの観点で魅力的と考える欧州を引き続き積極姿勢とする一方、アジア太平洋地域（日本を除く）を若干の消極姿勢、北米と日本については魅力的な投資機会が相対的に乏しいと判断し、消極姿勢とする方針です。業種配分としては、公益、ヘルスケア、生活必需品などについては積極姿勢、一方で一般消費財・サービスおよびコミュニケーション・サービス、さらに金利感応度の高い不動産を消極姿勢としていきます。

将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

今後ともご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

お知らせ

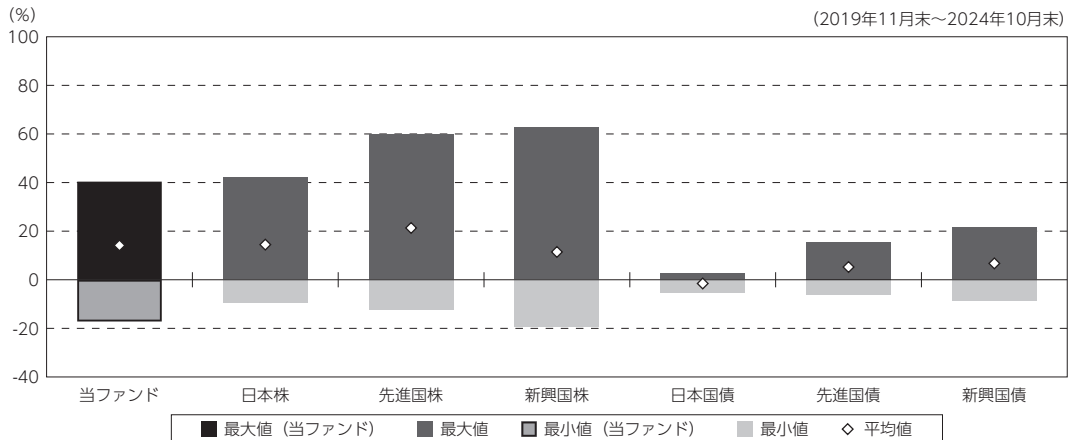
2024年5月21日から2024年11月18日までの期間に実施いたしました約款変更はございません。

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／内外／株式	
信託期間	2005年2月15日から原則無期限です。	
運用方針	主として「世界高配当株式マザーファンド」受益証券に投資を行ない、安定した収益の確保と中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	日興・CS世界高配当株式ファンド (毎月分配型)	「世界高配当株式マザーファンド」受益証券を主要投資対象とします。
	世界高配当株式マザーファンド	世界各国の金融商品取引所上場株式を主要投資対象とします。
運用方法	世界各国の配当利回りの高い企業の株式を中心に、同時に株式益回りの高い企業など、配当余力の高いと考える企業の株式に分散投資を行なうことで、安定的な配当収入を得ながら信託財産の成長をめざして運用を行ないます。株式の銘柄選定にあたっては、各銘柄毎の配当利回り水準、株式益回り水準などの配当余力に加えて、各国市況動向や、各銘柄毎のファンダメンタル、割安性、流動性などの分析も行ない投資を行ないます。外貨建資産への投資にあたっては、原則として為替ヘッジを行ないません。	
分配方針	第1計算期から第2計算期までは収益分配を行ないません。第3計算期以降、毎決算時、原則として安定した分配を継続的に行なうことをめざします。	

（参考情報）

○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位: %)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	40.4	42.1	59.8	62.7	2.9	15.3	21.5
最小値	△ 17.2	△ 9.5	△ 12.4	△ 19.4	△ 5.5	△ 6.1	△ 8.8
平均値	14.1	14.5	21.3	11.4	△ 1.5	5.2	6.7

(注) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 2019年11月から2024年10月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。

(注) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

《各資産クラスの指数》

日本株：東証株価指数（TOPIX、配当込）

先進国株：MSCI-KOKUSA I インデックス（配当込、円ベース）

新興国株：MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込、円ベース）

日本国債：NOMURA-BPI 国債

先進国債：FTSE 世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

新興国債：JP モルガン GBI-EM グローバル・ディバースィファイド（円ヘッジなし、円ベース）

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

当ファンドの参考指数について

●MSCIワールドインデックス（円ヘッジなし・円ベース）

[MSCIワールドインデックス] は、[MSCI Inc.] が発表している、世界の主要国の株式市場の合成パフォーマンスを表す指数です。同指数の（円ヘッジなし・円ベース）とは、現地通貨ベースの指数を円換算したものです。

指数について

●東証株価指数（TOPIX、配当込）は、日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、配当を考慮したものです。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、株式会社 J P X 総研又は株式会社 J P X 総研の関連会社に帰属します。

●MSCI-KOKUSA I インデックス（配当込、円ベース）は、MSCI Inc. が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc. に帰属します。

●MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込、円ベース）は、MSCI Inc. が開発した、世界の新興国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc. に帰属します。

●NOMURA-BPI 国債は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が公表している指数で、その知的財産権は野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属します。なお、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社は、対象インデックスの正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、対象インデックスを用いて行われる日興アセットマネジメント株式会社の事業活動・サービスに関し一切責任を負いません。

●FTSE 世界国債インデックス（除く日本、円ベース）は、FTSE Fixed Income LLC により運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、当指数に関する著作権等の知的財産その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLC に帰属します。

●JP モルガン GBI-EM グローバル・ディバースィファイド（円ヘッジなし、円ベース）は、J.P. Morgan Securities LLC が算出、公表している、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P. Morgan Securities LLC に帰属します。

当ファンドのデータ

組入資産の内容

(2024年11月18日現在)

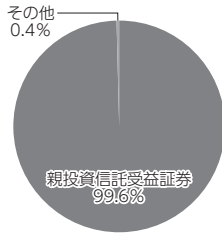
○組入上位ファンド

銘柄名	第238期末
世界高配当株式マザーファンド	99.6%
組入銘柄数	1銘柄

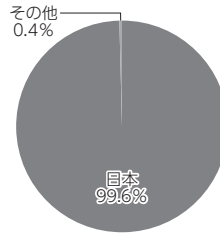
(注) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

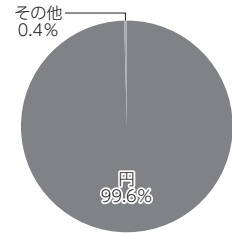
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

(注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

純資産等

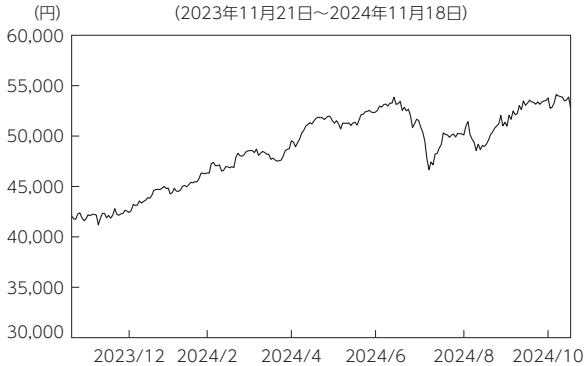
項目	第233期末	第234期末	第235期末	第236期末	第237期末	第238期末
	2024年6月18日	2024年7月18日	2024年8月19日	2024年9月18日	2024年10月18日	2024年11月18日
純資産総額	23,570,228,242円	23,763,962,568円	22,642,351,369円	22,254,666,684円	23,875,262,379円	23,255,343,772円
受益権総口数	26,170,555,607口	26,005,411,502口	26,038,895,190口	25,964,807,629口	25,884,508,597口	25,685,567,773口
1万口当たり基準価額	9,006円	9,138円	8,696円	8,571円	9,224円	9,054円

(注) 当作成期間（第233期～第238期）中における追加設定元本額は611,077,991円、同解約元本額は1,204,793,068円です。

組入上位ファンドの概要

世界高配当株式マザーファンド

【基準価額の推移】



【1万口当たりの費用明細】

(2023年11月21日～2024年11月18日)

項目	当期	
	金額	比率
(a) 売買委託手数料 (株 式)	4 (4)	0.008 (0.008)
(b) 有価証券取引税 (株 式)	1 (1)	0.002 (0.002)
(c) その他費用 (保 管 費 用)	12 (12)	0.024 (0.024)
合 計	17	0.034

期中の平均基準価額は、48,575円です。
 (注) 上記項目の概要につきましては運用報告書(全体版)をご参照ください。
 (注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
 (注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

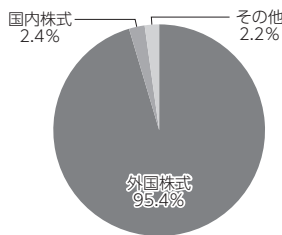
【組入上位10銘柄】

(2024年11月18日現在)

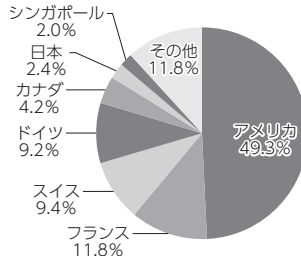
銘柄名	業種/種別等	通貨	国(地域)	比率
1 INTL BUSINESS MACHINES CORP	ソフトウェア・サービス	アメリカドル	アメリカ	3.9%
2 GARMIN LTD	耐久消費財・アパレル	アメリカドル	スイス	3.7%
3 BROADCOM INC	半導体・半導体製造装置	アメリカドル	アメリカ	3.6%
4 ALLIANZ SE-REG	保険	ユーロ	ドイツ	3.5%
5 NETAPP INC	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	アメリカドル	アメリカ	3.4%
6 TOTALENERGIES SE	エネルギー	ユーロ	フランス	3.4%
7 ABBVIE INC	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	アメリカドル	アメリカ	3.1%
8 CISCO SYSTEMS INC	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	アメリカドル	アメリカ	3.1%
9 TEXAS INSTRUMENTS INC	半導体・半導体製造装置	アメリカドル	アメリカ	2.6%
10 QUALCOMM INC	半導体・半導体製造装置	アメリカドル	アメリカ	2.4%
組入銘柄数		68銘柄		

(注) 比率は、純資産総額に対する割合です。
 (注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。
 (注) 国(地域)につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

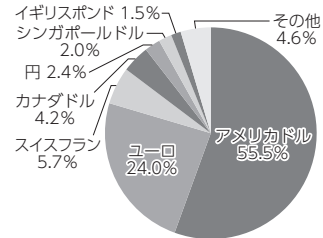
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。
 (注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。
 (注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。
 ※当マザーファンドの計算期間における運用経過の説明は運用報告書(全体版)をご参照ください。